

令和6年度 空飛ぶクルマ実装促進事業 採択事業者の決定

県内において空飛ぶクルマを活用したビジネス展開をめざしている事業者の取組を支援する空飛ぶクルマ実装促進事業において、この度、審査会における選定の結果、採択事業者を決定したので、公表します。

1 採択事業者

| 事業者 | 事業名 | 対象事業※1 | 補助自治体 |
|-------------------------|-----------------------------------------------------|--------|------------|
| 1 丸紅株式会社 | 空飛ぶクルマの運航事業実現に向けた検証調査 ～みんなでつくろう！ 関西から始まる新しい空の世界～ | (1) | |
| 2 日本航空株式会社 | 大阪・関西万博での2地点間運航と将来的な旅客輸送サービスの実現に向けた取り組み | (1) | 兵庫県 |
| 3 一般社団法人MASC | 関西・瀬戸内エリアにおける空飛ぶクルマ社会実装事業※2 | (1) | 大阪府 |
| 4 | | (2) | 大阪市 |
| 5 三井物産株式会社 | エアモビリティ統合運行管理プラットフォーム事業 | (2) | |
| 6 エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社 | 兵庫・大阪における空飛ぶクルマの医療分野の有効活用の検討Ⅱ | (2) | |
| 7 兼松株式会社 | 【続】兵庫県内における離着陸場設置検討調査 | (2) | 兵庫県 神戸市 |

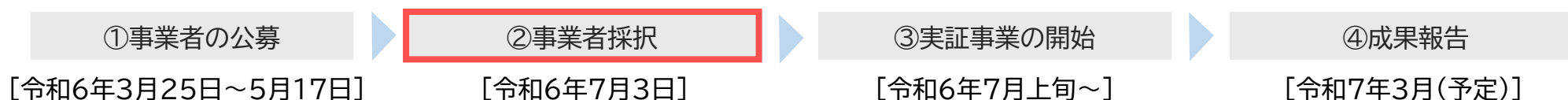
※1 (1)飛行実証等ビジネス化に資する事業、(2)ビジネスモデルの検証に資する事業

※2 事業名は同一であるが、取組内容は3, 4で異なる。詳細は後頁。

空飛ぶクルマ実装促進事業の概要

1 事業概要

県内において空飛ぶクルマを活用したビジネス展開をめざしている事業者の取組を支援。



2 補助内容

| | 兵庫県・大阪府枠 ※1 | 兵庫県枠 ※2 |
|---------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 補助対象者 | 兵庫県域及び大阪府域で事業を行う事業者 | 兵庫県域のみで事業を行う事業者 |
| 対象事業 | (1)飛行実証等ビジネス化に資する事業(採択後5年間のビジネス構想提出が必須) (2)ビジネスモデルの検証に資する事業 | (3)離着陸場設置の準備事業 |
| 補助割合 | 対象経費の2分の1以内 (兵庫県4分の1/大阪府4分の1) | 対象経費の2分の1以内 |
| 補助額(上限) | (1)60,000千円(県30,000千円+府30,000千円) (2)10,000千円(県 5,000千円+府 5,000千円) | (1)30,000千円 (2) 5,000千円 (3)10,000千円 |

・令和6年3月27日(水)に事業者向け説明会を大阪府、大阪市と共同で実施
※1 大阪市域を含む場合には大阪市補助事業による支援あり
(上限10,000千円と上限2,500千円の枠)

※2 神戸市域を含む場合には神戸市補助事業による支援あり(上限500万円)

※ (3)離着陸場設置の準備事業への申請なし。

①空飛ぶクルマの運航事業実現に向けた検証調査 ～みんなでつくろう！ 関西から始まる新しい空の世界～

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 兵庫・関西でのビジネス構想

2025年度

大阪・関西万博での飛行
旅行商品内容の検討

2026年度

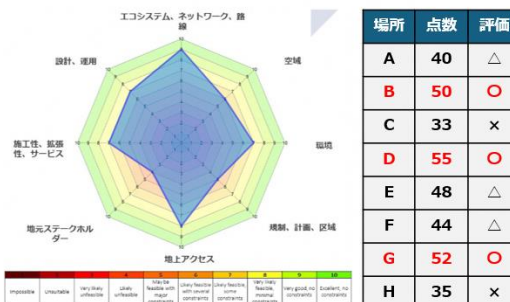
関係省庁との調整
運航ルートの調整

2027年度以降

主要空港近郊や湾岸部を離発着地とした観光用途での運航サービス開始

■ ビジネス構想を踏まえた2024年度中のアクション

- ・ 検証調査 (1) インバウンド・富裕層向け需要調査
- ・ 検証調査 (2) 観光商品動画の制作
- ・ 検証調査 (3) 離着陸場適地調査
- ・ 検証調査 (4) 飛行実現に向けたフィールドワーク兼申請準備



■ ねらい

関西エリアにおける運航事業の早期実現に向け、観光商品の設計やポートの適地調整や安全性を担保した運航計画の策定を通して事業開始に向けた準備を進めていく。

(2) ビジネスモデルの検証に資する取組み

■ 申請者・実施体制

<申請者> **Marubeni**

- ・ 丸紅株式会社

<共同事業者>

- ・ 株式会社エイチ・アイ・エス
- ・ 株式会社みずほ銀行
- ・ 東京海上日動火災保険株式会社
- ・ 兼松株式会社

<協力事業者>

- ・ Vertical Aerospace Group Ltd.
- ・ Skyports株式会社

②大阪・関西万博での2地点間運航と 将来的な旅客輸送サービスの実現に向けた取り組み

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 兵庫・関西でのビジネス構想

2025年度

万博会場と会場外を結ぶ
2地点間運航

2026年度

短距離輸送サービスの開始

2027年度以降

関西圏空港シャトルサービスへの拡大
都市部を含めたエアタクシーサービスへの拡大

■ ビジネス構想を踏まえた2024年度中のアクション

- 空飛ぶクルマ運航の事業準備にかかる取組み（パイロット・整備士訓練の実施）



© Volocopter GmbH - All rights reserved



© Volocopter GmbH - All rights reserved

パイロット・整備士訓練のイメージ

■ 申請者・実施体制

<申請者>

- 日本航空株式会社

<共同事業者>

- 住友商事株式会社

<協力事業者>

- Volocopter GmbH

■ ねらい

- 2025年大阪・関西万博を契機として、旅客輸送サービスのビジネス化を実現
- 万博以降は、大阪版ロードマップの展開ステップに沿って段階的にサービス拡大

③ 関西・瀬戸内エリアにおける空飛ぶクルマ社会実装事業

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

(2) ビジネスモデルの検証に資する取組み

■ 兵庫・関西でのビジネス構想

2025年度

国外訓練の実施
中核基地等の事前準備

2026年度

国内訓練の実施
中核基地等の整備

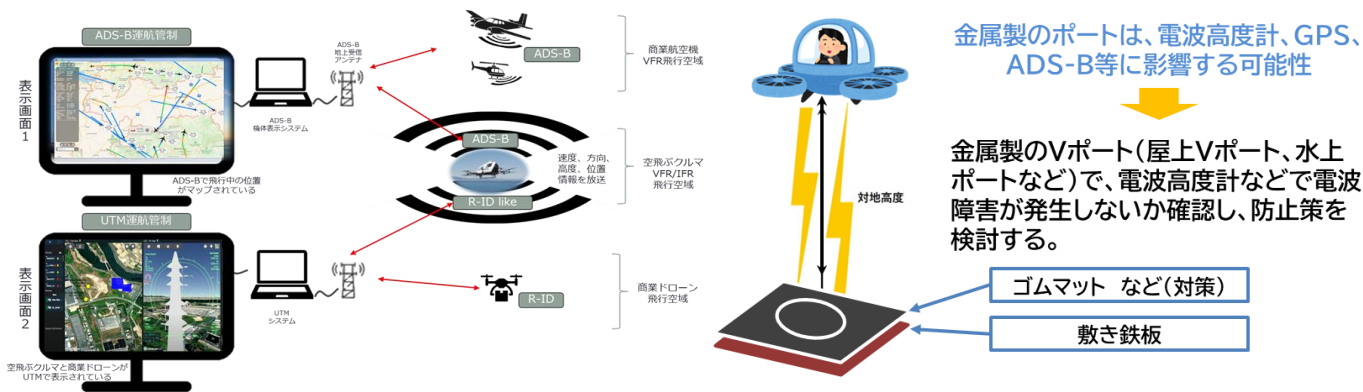
2027年度以降

事業会社の設立及び事業一部開始
事業用機体導入

■ ビジネス構想を踏まえた2024年度中のアクション

- ・ ビジネス化に向けた試験飛行等実証実験（安全運航・電波障害に関する検証）
- ・ パイロット、整備士、運航管理の人材育成、離着陸場候補地の抽出

<実証イメージ>



■ 申請者・実施体制

<申請者>



- ・ 一般社団法人 M A S C

<協力事業者>

- ・ サンワエアロスペースインダストリー株式会社
- ・ 株式会社パソナグループ
- ・ オリックス株式会社
- ・ 株式会社建設技術研究所
- ・ 株式会社日本空港コンサルタンツ
- ・ 株式会社AirX
- ・ 株式会社トラジェクトリー
- ・ アリアル・イノベーションLLC
- ・ EHang Holdings Limited

■ ねらい

2030年代に関西・瀬戸内エリアが“空のコリドー”で結ばれ、より自由に・より活発に空の移動が実現する社会の実現をめざす

④ 関西・瀬戸内エリアにおける空飛ぶクルマ社会実装事業

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 申請者・実施体制

< 申請者 >



- 一般社団法人MASC

< 協力事業者 >

- サンワエアロスペースインダストリー株式会社
- 株式会社パソナグループ
- オリックス株式会社
- 株式会社建設技術研究所
- 株式会社日本空港コンサルタンツ
- 株式会社AirX
- 株式会社トラジェクトリー
- アリアル・イノベーションLLC
- EHang Holdings Limited

■ 今後のロードマップ

2025年度

国外訓練の実施
中核基地等の事前準備

2026年度

国内訓練の実施
中核基地等の整備

2027年度以降

事業会社の設立および事業一部開始
事業用機体導入

(2) ビジネスモデルの検証に資する取組み

■ ねらい

2030年代に関西・瀬戸内エリアが“空の廊下”で結ばれ、より自由に・より活発に空の移動が実現する社会の実現をめざす。

■ 今年度事業概要

- 水上での離着陸場の活用シーン・構造要件・整備コスト・法制度における課題についての調査
- 空飛ぶクルマの社会受容性向上に向けた取り組み

< 実証イメージ >

水上での離着陸場(イメージ)



フォーラムのイメージ



⑤エアモビリティ統合運航管理プラットフォーム事業

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 申請者・実施体制

< 申請者 >

- 三井物産株式会社



< 共同事業者 >

- 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
- 株式会社JR西日本イノベーションズ
- 朝日航洋株式会社
- 小川航空株式会社
- Terra Drone株式会社
- 株式会社ウェザーニューズ
- Qsol株式会社

< 協力事業者 >

- Eve Air Mobility

■ ビジネスプラン (今後の構想)

2025年度

航空機管理システムと気象情報の連携
多様な航空機に向けた無人機運航管理システムの開発

2026年度

空飛ぶクルマ機体管理システム開発
離着陸場運営システム開発

2027年度以降

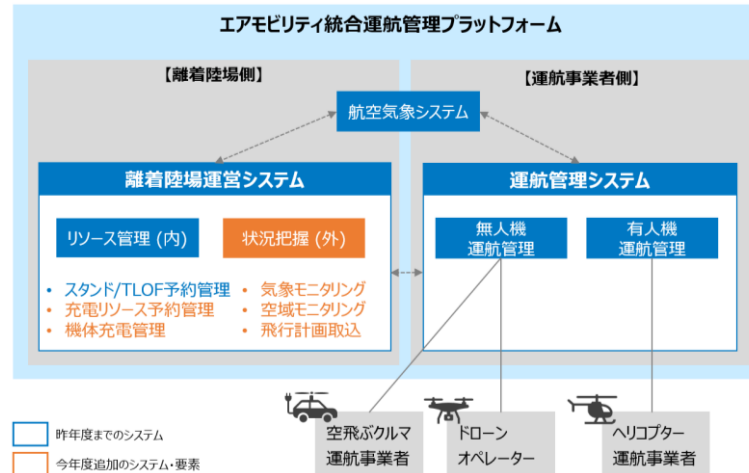
(2) ビジネスモデルの検証に資する取組み

■ ねらい

多種多様な機体の位置情報・運航データ、気象や離着陸場の情報を共有するエアモビリティ統合運航管理プラットフォームを構築し、安心・安全な空飛ぶクルマ社会の実現をめざす。

■ 今年度事業概要

- ① 調査：空飛ぶクルマ社会実装を想定した運航密度、ルート、離着陸場候補地検討
- ② 実証：①を前提とした運航管理プラットフォームの実証実験（高密度運航、空飛ぶクルマ実機性能の考慮、離着陸場内運用との情報共有）



令和5年度 実証画像例(D-NET)

⑥大阪・兵庫における空飛ぶクルマの医療分野の有効活用の検討Ⅱ

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 申請者・実施体制

< 申請者 >

- エアバス・ヘリコプターズ
・ジャパン株式会社



< 共同事業者 >

- 株式会社メディセオ
- 三菱倉庫株式会社

■ ビジネスプラン（今後の構想）

2025年度

空飛ぶクルマによる有益な航空医療ミッションを実現するための検討調査

2026年度以降

災害時を含む航空医療ミッション・サービスに関するエコシステムの開発支援
旅客輸送などビジネスとして実現可能なユースケースの利用等をサポート

(2) ビジネスモデルの検証に資する取組み

■ ねらい

- 大阪府、兵庫県間で医療関係者・医薬品等を輸送する新しいソリューションを開発・展開
- 空飛ぶクルマを活用した効率的な輸送・患者の救命率改善による社会貢献を目指す

■ 今年度事業概要

- 大阪府・兵庫県において空飛ぶクルマの航空医療分野での有用性を検証（検証項目）

大規模災害が発生し道路網に大きな被害を受けた状況を想定し、都市部・山間部・離島の3つのルートで医薬品（医療スタッフ）の輸送に関するシミュレーションを実施。



⑦(続)兵庫県内における離着陸場設置検討調査

(1) 飛行実証等ビジネス化に資する取組み

■ 申請者・実施体制

<申請者>



兼松株式会社

・ 兼松株式会社

<共同事業者>

- ・ 株式会社SkyDrive
- ・ 東京海上日動火災保険株式会社

<協力事業者>

- ・ Skyports株式会社 ・ 日本工営株式会社
- ・ 学校法人ヒラタ学園 ・ メトロウェザー株式会社
- ・ 株式会社フリープラス ・ (一社)城崎温泉観光協会
- ・ 城崎温泉旅館協同組合・株式会社湯のまち城崎
- ・ (一社)豊岡観光イノベーション・全但バス株式会社

■ ビジネスプラン (今後の構想)

2025年度

環境アセスメント検討
導入に向けた地域との合意形成

2026年度

運航会社との合意
離着陸場設計・許可申請

2027年度以降

航空局からの設置許可取得
自治体への建築確認申請・着工

離着陸場竣工
運用試験・運用開始

(2) ビジネスモデルの検証に資する取組み

■ ねらい

- ・ 神戸、城崎温泉における離着陸場設置・運営の事業化に向けた検証・深度化
- ・ まちづくりを踏まえた、事業者や地域等との導入に向けた合意形成の課題・方針整理

■ 今年度事業概要

調査①：離着陸場候補地における深掘検討調査 (続)



・ 神戸WFエリア・城崎温泉における事業構想の素案策定、課題整理



23年度調査



耐久性



電力グリッド



3次元風況



事業性

調査②：環境アセスメントに向けた予備調査



・ 神戸WFエリア、城崎温泉における環境アセスメントの方法書素案を策定

調査③：城崎のまちづくり構想を踏まえた「空飛ぶクルマ」の活用検討



- ・ 空飛ぶクルマの導入ビジョン(案)の策定
- ・ 導入に向けたロードマップ(案)の策定

* 神戸WFエリア：神戸ウォーターフロントエリア

参考 兵庫県における空飛ぶクルマの展開ロードマップ

- 目標**
- 【短期】環境整備を促進し、万博時（2025年）の県内飛行を実現
 - 【長期】事業者との連携により、県内に関連産業のエコシステムを形成



※Maintenance, Repair, Overhaul の略で航空機の整備・修理に関わる事業のこと